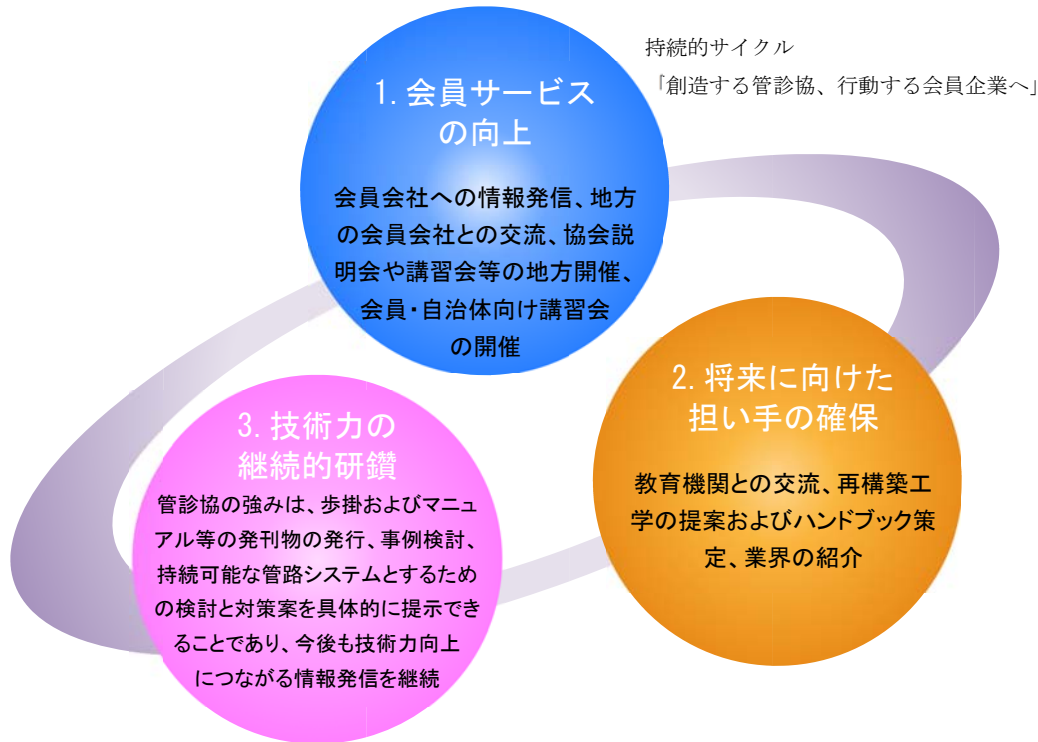


「下水道システムの持続的発展のために」 —創造する管診協、行動する会員企業—

新ビジョンについて

管診協では、「循環のみち下水道」の成熟化（持続と進化）に貢献すべく「会員サービスの向上」、「将来に向けた担い手の確保」、「技術力の継続的研鑽」を柱に今後5年間の基本方針として示すものです。



協会活動の目的

一般社団法人管路診断コンサルタント協会は、管路構造物の耐久性を評価する調査・診断とそれに基づいた的確な改築・修繕工法およびこれに要する材料等の評価に努め、計画的な事業実施のための管路構造物診断技術に係る総合システムの構築を図り、もって本事業分野の普及発展により、広く社会公共の福祉の増進に寄与することを目的としています。

1. 会員サービスの向上

- 1) 管診協では、会員会社の活用促進を図るため会員へ特定したサービスを充実させていきます。
 - ①最新技術情報や国の政策（新制度の情報や次年度予算内容など）について、協会ならではの解説を加え、協会ホームページなどで定期的に情報発信します。
 - ②会員のPR強化を図るため、会員名簿（冊子）の作成、雑誌・新聞への会員名掲載とともに、協会ホームページの会員情報を充実した内容とします。
 - ③会員サービスの効果を検証するため会員会社にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえてサービス内容を継続的に改善していきます。
- 2) 管診協は顔の見える協会を目指すため、地方会員会社と積極的に交流します。
 - ①理事や地区技術委員と地方会員会社の経営者、幹部、技術者との意見交換会を実施し、その対談結果を今後の協会運営に役立てていきます。
 - ②地方の技術者に対する技術研鑽のため、講習会や研修会の地方開催を企画していきます。
- 3) 学協会との連携を図り、資格制度などへの支援を行っていきます。

2. 将来に向けた担い手の確保

- 管診協では、将来に向けた担い手の確保を図るため、学教員、会員会社の若手社員などを対象にしたツールを作成、公開していきます。
- 1) 「再構築工学」ハンドブックを作成し、学生や教員、会員会社の若手社員向けに公開の上、研修も行っていきます。
 - 2) 教育機関との交流を踏まえ、本協会の紹介、再構築の必要性、作成ツールの利用促進などから水コンサルタント業への就職を啓発していきます。

3. 技術力の継続的研鑽

- 管診協では、管診協では、より実践的な技術力を維持し、さらなる向上につながるため、歩掛、仕様書、マニュアル等の発刊、講習会や研修会の継続的開催を行っていきます。
- 1) 長寿命化支援事業、総合地震対策事業など下水道の持続と進化に必要なテーマを主体に講習会や研修会を実施していきます。
 - 2) 管診協では、会員会社にストックされた技術力やノウハウの蓄積を踏まえて会員会社や発注者の技術力アップを図ります。
 - 3) 実務担当者による「虎の穴」的ノウハウの講習会を実施します。

管診協では、会員会社の活用促進を図り、将来の担い手を育て、技術力を向上させることを継続することで、次の時代へとつなげられるように活動していきます。